



令和8年度 長野市立篠ノ井東中学校 グランドデザイン

学校教育目標

「人にやさしさ 自分につよさ」

- 春風をもって人に接し 秋霜をもって己を慎む -

□人にやさしさ

- (1) 仲間との絆を深める
- (2) 差別やいじめをしない
- (3) ふるさと篠ノ井を愛する

□自分につよさ

- (1) 勉学・清掃に励む
- (2) 体験的に学ぶ
- (3) マナーや規則を守る

しなのきプランⅡ
「自ら学び 共に育つ」
～ウェルビーイングの実現～
子どもたちの【自学自習の資
質能力】の伸長を支援



「みんなで創る やさしさと輝きあふれる学校」 ～自立した生徒、地域に貢献する生徒の姿を求めて～

R8生徒会スローガン 「^{つむぐ}紡」 ～一人ひとりの声で創り上げる東中～

- 生徒・保護者・学校運営委員会、篠ノ井地域、校区内小中高連携
- ・通明小学校
- ・篠ノ井東小学校
- ・篠ノ井西中学校
- ・更級農業高校
- ・篠ノ井高校
- ・長野俊英高校

目指す生徒の姿：自立した生徒・地域に貢献する生徒

自立：自ら気づき、考え判断し、行動する

自立した生徒の姿： ○自分を見つめることができる ○仲間（人）とかわることができる ○社会とのつながりを考えることができる

貢献：ふるさと「篠ノ井」を愛し、地域へ感謝の気持ちをもって行動する

学び合い、高め合う学校

○自ら学ぶ授業・家庭学習

全校研究テーマ

「自立した学習者の育成～生徒の学びを支援する伴走型学習指導～」

◇自学自習の資質・能力の育成

- ・効果的な復習や友の学び方を共有する
- 対話型リフレクション（振り返り）の実施
- ・自らの学習を振り返って自学の見通しをつくる
- プランニングタイム（PT）の実施

◇授業のユニバーサルデザイン化による個別支援の充実

- ・板書、ICT活用等による「学びの視覚化」を大切に授業づくり
- ・思考のアウトプットによる「学びの共有化」を積極的に行う授業づくり

○清掃の質的向上

- ・自分自身と向き合う気づき、無言清掃
- ・異学年による縦割り清掃、みがき隊

認め合い、支え合う学校

○自ら考え、行動する生徒会

◇「伝統」活動の進化

- ・東中四本柱（あいさつ、無言清掃、感謝、合唱）の取組拡大とその充実
- ・差別やいじめをなくす「東中人権宣言」、
- 「学級人権宣言」の取組の具現
- ・生徒の声を大切に、生徒会主体の楽しい企画の実現・集会運営

◇地域貢献活動への取組

- ・自主的な環境美化活動の地域貢献
- ・「篠ノ井あいさつ運動」への積極的参加
- ・生徒会提案による「地域貢献の日」

○自他への思いやり

- ・互いのよさを認め合い、支え合う学級・学年・学校全体の集団づくり
- ・活動や学びから得た達成感による、自己肯定感の高まりを目指す

地域と共にある学校

○自ら地域に学ぶキャリア教育

◇地域学習「篠ノ井学」の充実

- ・地域に出かけ、地域の「人・もの・こと」から学び、ふるさと「篠ノ井」について考えまとめ、発表する学習、企業と連携し、ふるさとを発信する新商品開発を目指したアントレプレナーシップ学習
- ・地域での職場体験学習等を通して、「働くこと」、自分の将来の夢や目標について考える学習の充実

◇校種間連携の推進

- ・校区内の小学校及び地域にある中・高校との連携・協働の推進

○地域・保護者とのつながり

- ・学校便り、学年通信、HPによる情報発信の充実、授業参観日、学校行事、学校開放時の積極的な公開

安全安心な学校

- 生徒・保護者・地域の方々との信頼関係の構築（みんなの声で創る学校づくりの推進、非違行為防止研修の実施）
- 子どもの命、安全安心を第一優先に「危険予測・回避能力を高め、自ら判断・行動できる」生徒を育む実践的な安全・防災教育の実施、思いやりの心を育む道徳・人権教育の充実（いじめの未然防止、「いじめ防止」への取組の充実、早期発見・早期対応）
- 一人ひとりの子どものよさや頑張りを認め励まし、自己肯定感を育む寄り添った支援の充実、教職員による生徒理解研修の促進
- 生徒や保護者との教育相談の充実（定期的な教育相談、年2回の保護者懇談会に加え、いつでも相談できる体制づくりと周知）
- どの生徒にとっても安心して学べる居場所づくり（校内教育支援センター（相談室）、学びやすい環境づくり、オンライン学習の推進）
- 生徒のニーズに応じた、放課後時間の活用（自学・学び合い・個人探究、生徒会・係活動・相談等）

「学校生活が楽しい」と感じる生徒の割合を高める。（R6年度及びR7年度学校評価アンケート結果 85%）